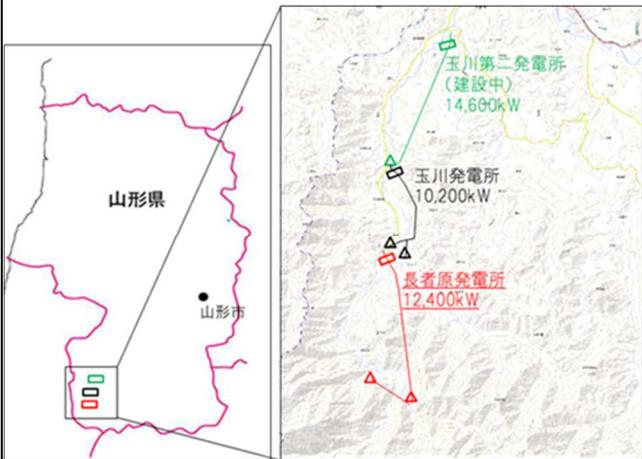


グリーンローンの概要

■資金調達概要

借入人	東北電力株式会社
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行
資金使途	当社グループの東北自然エネルギー株式会社が運営する長者原発電所の改修費用
プロジェクト概要	<p>●所在地：山形県西置賜郡小国町</p> <p>●経緯：当水力発電所は1938年に運転を開始したが、経年劣化による老朽化が進んできたことから、設備保安、設備信頼度の向上を図ることとし、全面改修を行うもの。</p> <p>●最大出力：本改修工事によって、改修前の最大出力12,400kWから500kW向上し、12,900kWとなる。</p> <p>●工事期間：2020年7月準備工事開始、2021年3月着工、2023年12月運転開始予定</p> <p style="text-align: center;">図1：発電所の立地</p>  <p style="text-align: center;">図2：既設発電所と水圧鉄管</p> 
外部評価	<p>DNVより、グリーンローンによる資金調達計画について、下記基準への適合性について評価を受けております。グリーンローンに関しては、GLGLs、GLPへの適合性について評価を受けております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンローンガイドライン（GLGLs 環境省 2020）※1 ・グリーンローン原則（GLP LMA、APLMA、LTSA 2021）※2 ・Climate Bonds Standards (v.3.0) 及び参照可能な技術基準
その他	本ローンに係る第三者評価の取得については、環境省の令和3年度グリーンボンド・グリーンローン等の発行促進体制整備支援事業※3の補助金交付対象となっております。

※1 グリーンボンド原則やグリーンローン原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や日本の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドやグリーンローン等を国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドライン。

※2 グリーンローン商品の開発と整合性向上の促進を視野に入れ、シンジケートローン市場で積極的に活動している大手金融機関の代表から成る経験豊富な作業部会によって策定された原則。LMA、APLMA、LTSAが2018年に策定・公表し、2021年2月に改訂された。

※3 グリーンボンド等^(注)を発行しようとする企業や地方公共団体等に対して、外部レビューの付与、フレームワーク整備等コンサルティング等により支援を行う登録発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する事業。注)：令和3年度から、グリーンボンド、グリーン性を有するサステナビリティボンドに加えて、グリーンローンの発行等支援が追加された。